

[公表] 令和7年度 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども通所センターふれんど			○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日	
	実施期間		対象者数	回答者数	回答率	
○保護者評価	1月5日	～ 1月19日	10人	10人	100.0%	
○従業者評価	1月5日	～ 1月19日	4人	4人	100.0%	

○ 分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 個別支援を行っていること	その子にあった課題の提供支援を行っている。	スタッフのスキル向上
2 一人ひとりに合わせた支援	毎回、一つ一つの課題について振り返り、次回に生かしている。また、子どもの何気ない会話や行動を意識している。	振り返る時間を大切にする
3 母子(家族)通所	毎回、その日の子どもの様子を母と話し合うようにしている。	母と話し合ったことを振り返り
4 子どもや保護者に対してオーダーメイドの支援を徹底していること	保護者の悩みに対し、他事業所やこども園ときめ細かい話し合いをしている。	スタッフのスキル向上

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 療育に携われる職員が少ない。	誰でも簡単にできることではないので人材が育ちにくい。	人材確保
2 支援者一人ひとりの考えに左右されたり、一人で抱え込みがちになる。	一人体制でいいのか	
3 支援の振り返りと準備に時間がかかりがちになる。	支援の質を優先することに重点を置いている。	スタッフのスキル向上

[公表] 令和7年度 児童発達支援保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日 令和8年2月27日

事業所名	こども通所センターふれんど
------	---------------

利用児童数 10人 回答数 10人 回答率 100.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10 100%				○勉強と遊ぶスペースや時間が分かれていて子どもも切り替えやすい		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9 90%			1 10%	○マンツーマンなので有難い	現在指導員2名配置、不足の場合は増員も考えます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9 90%			1 10%	○配慮されていると思う		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10 100%				○特に問題はない		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10 100%				○子どもに細やかな配慮を下さっています。	指導員は養成講習受講済みで、更にその他講習会にも参加し、自己研鑽に努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10 100%				○特に疑問点はない	プログラムは支援内容や目的等を分かり易く見える化したものです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10 100%				○保護者の思いを十分に受け止めてくれる		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10 100%				○特に問題はない	支援計画はアセスメントや本人及び家族の意向等を各項目に分けて作成したもので、子どもの成長に合わせ変更しています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10 100%				○特に問題はない		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10 100%				○勉強内容が毎回違うので、本人も楽しんでいる	子どもの状態や保育園等のニーズに合わせ、プログラムを変更しています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6 60%	1 10%	1 10%	2 20%	○今のところない ○わからない	全員、保育所併用で、特に機会を設けていないが、保育園訪問でモニタリングを行っています。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10 100%				○特に問題なし		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10 100%				○特に問題なし	支援後、発達状況や課題等の振り返りを行い、その中で共通理解を深めています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7 70%				3 30%	○参加したことは無い ○わからない	保護者同伴の療育であり、家庭での悩み事等について相談・助言を行っており、必要があれば発達支援センターのペアプロを紹介しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10 100%					○親身になって聞いてくれるので、十分に共通理解はできている	毎回、保護者と子どもの発達状況や課題について振り返りを行い、その中で共通理解を深めています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10 100%				○毎回相談している	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10 100%				○とても暖かく親身になって言葉かけて頂き、私も子供も励まされ助けられている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3 30%	1 10%	6 60%		○交流は求めていない ○わからない	現時点では施設独自の保護者会の開催はないが、もしも保護者からの要望があれば、前向きに検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10 100%				○その都度対応してくれている	通常の相談等は指導員等で対応し、苦情等の申し入れについては、苦情受付担当者が対応処理後、第三者委員会へ報告しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10 100%				○配慮されている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5 50%		5 50%		○見たことは無い ○わからない	定期的には発行していないが、単発で活動記録をお便りとして利用者毎に発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10 100%				○されていると思う ○気にしたことは無い	職員には個人情報の取り扱いについて周知徹底しており、写真等の使用に際しては、その都度確認しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5 50%		5 50%		○訓練が実施されているかわからない ○その状況になったことがない	マニュアルは全て策定し、職員にも周知されており、訓練も定期的の実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3 30%	1 10%	6 60%		○訓練が実施されているかわからない ○そのような状況になったことがない	感染症・自然災害のマニュアルを策定し訓練も年2回実施しており、各マニュアル及び訓練実施について、情報発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9 90%		1 10%		○訓練が実施されているかわからない	安全計画を策定し、危険箇所等の点検や訓練等も実施しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7 70%	1 10%	2 20%		○そのような状況になったことがない	保護者同伴の療育であり必要性は低いですが、緊急連絡先は複数登録されており、順次連絡していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10 100%				○自分の居場所になっているようです ○特に問題はない	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9 90%	1 10%			○毎回楽しみにしています ○特に問題はない	子どもの興味を最大限に引き出せるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10 100%				○十分に満足しています	

【公表】平成7年度 こども通所センターふれんど児童発達支援における自己評価結果

公表日 令和8年2月27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室(4室)と小集団活動室があり、落ち着いた空間で療育を行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指導員2名を配置しており、必要があれば指導員の増員を行う。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		建物は平屋建てバリアフリーで、全室個室化され、気が散らないようにスイッチ類にはカバーを設置し、教材配置等は絵や写真を子どもの目の高さで標記している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		教材等は子どもの特性に合わせて工夫しており、療育後は感染防止のため除菌消毒している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの希望や状況に応じて個室と集団活動室を使い分けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月1回全職員で改善に向けた会議を開催、その他、夕方のミーティングで情報交換と振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価結果表をホームページや事業所内に掲示公表している他、お知らせでも回報している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の会話や、年一回のアンケートの他、必要に応じて面談を実施している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人の理事会で評価してもらい、改善に努めている。	必要があれば委員会を開催する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県の講習会を始め法人全体研修、更にOJTにより情報共有している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		プログラムを作成し情報公開している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを行い、結果を分析後、支援計画を立案している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員が参加する計画会議で計画案を多方面から協議している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別療育のため、担当職員と児童発達支援管理責任者間で支援記録を回覧し、支援計画を確認・共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントは半年毎に実施しているが、個別療育のためその日の気付きは支援記録に記載し、次の計画に反映させている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は5領域を網羅し、その他、「家族支援」等についても第三者から見ても分かり易い具体的な内容で設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		特にチームは組んでいないが、担当者がプログラム原案を作成し、全職員で話し合い完成させている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その日の状態や保護者・保育園等のニーズに合わせて、プログラムを変更している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	(○)		集団活動は行っていないが、面訪問での見学や話し合いに代えている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育は基本1対1の担当制で行っており、必要がある場合のみ協議している	個別対応のため必要以外、複数の職員が支援に入ることは無い。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育は担当制の為、ミーティングは行わないが、必要に応じて検討会を全職員で行っている。	担当職員は単独で療育後、振り返り等を結果記録している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動や遊びの記録だけでなく、健康状態等も必要に応じて具体的に記録し、問題があればミーティングで検討し、対応策を施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎のモニタリング実施後、支援会議で半年間の成果を検証し、支援計画見直しの資料にしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当者が参加、情報・意見交換を行い、会議結果を支援計画に反映させている。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		障害福祉、保育、教育機関と連携体制は整っており、支援のための連携は密に行っている。	保健・医療機関との連携の在り方について、今後必要に応じて考えていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現況、利用児は全員併行利用を行っており、定期的に保育所訪問を行い情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の希望があれば児童の情報を学校側に情報提供している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	○		アドバイザーの派遣を受け、その助言を実行に移している。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	(○)		利用児は全員、保育所併用であり、日常的に障害のない子どもと活動しているため、療育中には特に機会を設けていないが、保育園訪問でモニタリングを行っている。	事業所としては、地域の中での交流は実施していない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回必ず保護者と子どもの発達状況や課題について振り返りを行い、その中で共通理解を深めている。	
保護者への説明等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		療育は保護者同伴であり、療育後、家庭での悩み事等について相談・助言を行っており、必要があれば発達支援センターのペアプロを紹介している。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に、重要事項説明書や契約書の説明を通して、運営規程、利用者負担等について説明し、納得を得ている。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意思確認は半年毎の面談時に保護者は直接、子どもは保護者をとおして行っている。	状況によっては、こども同席で聞き取りをすることも考えていきたい。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		毎回、療育後、振り返りと課題について話し合っており、半年毎の面談ではこれらを統括する場となり、それらに基づく新しい計画の説明を行い、同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		療育後やモニタリング時に、子育てや障害についての相談に応じ、助言等の支援を行っている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		施設独自の保護者会は開催していないが、既存の小松市手をつなぐ育成会の事業には協力している。	今後、保護者からの要望があれば、前向きに検討していきたい。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		通常の相談等は指導員等で対応し、苦情等の申し入れについては、苦情受付担当者が対応処理後、第三者委員会へ報告している。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的には発行していないが、単発で活動記録をお便りとして利用者毎に発信している。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員には個人情報の取り扱いについて周知徹底している。	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人ひとりの児童に合わせた見て分かるカードや写真を使用して意思疎通に利用している。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	年末の大掃除の際に、ボランティアとして地域の企業の方にお手伝いとして来ていただいております、交流の場ともなっている。	児童発達支援では個別療養を行っている観点から難しい状況である。今後、イベント等の開催をすることがあれば前向きに検討していきたい。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを全て策定し、職員にも周知されており、訓練も定期的を実施している。	各マニュアルの存在や訓練の実施について、保護者に情報発信していきたい。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		感染症・自然災害のマニュアルを策定し訓練も年2回実施している。	各マニュアル及び訓練実施について、情報発信していきたい。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者同伴の療育のため、与薬等は保護者に行ってもらっている。	療育時に保護者から与薬等について情報提供を受け確認している。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		療育中に飲食はなく、対象の利用者はいないが、必要があれば行う。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、危険箇所等の点検や訓練等も実施している。	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の策定や訓練等は実施しているが、情報発信迄には至っていない。	計画書及び訓練等の実施について、情報発信していきたい。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生時の状況や対応策等について全職員で共有している。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体の研修課の他、担当職員が中心となりOJTを実施している。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事案発生時には委員会で検討後、家族に説明し同意を得て計画書に反映記載している。	事案が改善されるまで経過観察と再検討を継続して行う。